

さあ、みんなで沖縄に行こう!

第3回定期試験が終了し、来週はいよいよ修学旅行出発です。

体調はどうか? 出発まであと1週間となりましたが、空気の乾燥した冬らしい天候が続いています。みんなそろって楽しく出発するために、毎日気をゆるめず、うがい・手洗いを励行して、風邪を引いたりインフルエンザに罹患することのないよう十分注意をしてください。



さて、私たちはこれまで修学旅行に向けて沖縄の歴史や文化、自然などについて学んできました。それらをもとに現地では、ぜひ自分の目や心でいろいろなものを見て、触れて、感じてほしいと思っています。そして、今回の旅行では「人とのつながり」も旅のテーマにしてほしいと思います。先生たち、班別行動でお世話になるタクシーの運転手さん、飲食店や土産物屋の店員さん、ホテル従業員の方々など、積極的に話をして仲良くなってほしいと思います。さらには、いつも自分の

そばにいる仲間の、新たな一面を発見できるかもしれません。積極的に行動し、多くのものを貪欲に吸収してきてください。ルールをしっかり守って、思い出に残る楽しい修学旅行を創り上げてください。

今回皆さんがこうして修学旅行に旅立てるのも、家の人たちの支えがあってこそです。喜んで送り出してくれる深い愛情に改めて感謝して、安全に充実した旅行から帰ったら「楽しいみやげ話」という最高のお土産をいっぱい渡してください。



ブーゲンビリア

保護者のみなさまへ

修学旅行に向けて・・・先月22日には、修学旅行の詳細を記した「修学旅行のしおり」を生徒たちに配付し、30日の年次集会で、最終の事前指導を行いました。すでにお配りしました「修学旅行のお知らせ」ともあわせて、御家庭で再度御確認の上、最終準備を進めていただきたいと思います。特に、持ち物の準備や当日の送迎などについての御確認をお願いいたします。なお、修学旅行中の生徒の様子は、西高のホームページにアップします。有意義な旅となるよう、職員一同、最善を尽くしてまいります。

健康管理について

例年、寒さが増してきますと、体調を崩す生徒が多くなります。学校でも、手洗いやうがいの励行、マスクの着用など感染予防に努めますが、御家庭でもサポートをお願いいたします。

修学旅行が終われば・・・

一年後の受験に向けて「自己を深める」時期に入ります。これまでの学習をよりステップアップさせ、受験を意識した学習に切り替えていかなければなりません。受験は自分自身との勝負であり、自分自身を高めるチャンスでもあります。仲間と共に受験に向けて意識を高めていきましょう。

先月9日(金)には大学の先生をお招きし、実際に行われている大学での授業を体験する機会を設けました。2月15日(金)に第2回を予定しています。このような機会が皆さんにとって、大学で学ぶことへの意欲向上につながればと思います。そして今、受験の真っ只中にいる先輩方の背中を見ながら、今できることに全力で取り組み、自分自身を高めていきましょう。

副担任の先生の寄稿…今回は3組副担任 岡 裕子先生です。

戦争の記憶と記録 「語り継ぐということ」

3組副担任 岡 裕子

沖縄への修学旅行のたびに思い出す人がいる。平和祈念公園資料館の二階に壁一面ガラス張りの展望室があるのだが、そのソファに腰を下ろしてのんびりと波の様子を見ていた時のことだ。一人の年配の女性が、私が教師だということを察してためらいがちに声をかけてきた。その方は、生徒たちを数時間観察しその感受性の乏しさに愕然としたという。海を見ての感想は「きれい」「すごい」だけ、じっくりと眺めもせずに写真を数枚とっていただけ。沖縄で得たものなどないだろう、と語気を強めた。ひめゆり学徒と同年代のその方は、沖縄に来ると必ず平和祈念資料館を訪れ、犠牲となった学徒たちに思いをはせ祈りを捧げるのだという。当時の高校生の思いは現代の高校生に伝わっていないと憤りに近い感情を抱いておられたが、「多くの学校で事前学習をした上で沖縄に来ており、生徒は戦争や社会問題について真剣に考えている。」と私が説明すると、彼女は「そうかもしれない。ぜひそうあってほしい。」と行って立ち去っていった。

その夜、ホテルでひめゆり学徒の方の講話を聴いた。70歳半ばだったが、その力強い話しぶりに圧倒された事を覚えている。命を落とした友人たちの無念を次世代に伝えることが自分の使命だという信念と、同じ運命を現代の若者に味わわせたくないという想いが強く伝わってきた。約15年も前のことであるが、戦禍を生き抜いた芯の強い女性と出会い直接思いを聞くことができ、今も心に残る大切な旅であった。

さて、今回はひめゆり平和祈念資料館の方からの講話となる。ひめゆり学徒の方々はご存命なら90歳。残念ながら講話をお願いするのは無理だろう。そんな折り、8月放送のTBS「報道特集」、『AIを活用した戦争証言を記録に残すアメリカでの試み』を思い出した。『ユダヤ人のアウシュビッツ生存者の証言をビッグデータに保存し、講演会では聴衆からの質問にAIロボットが膨大なデータの中から答えを選んで回答する。本人はその2週間後(?)お亡くなりになったが、AIロボットによって彼の証言はずっと生き続ける』という内容だった。AIが人間の仕事を奪うと言われて久しいが、このような活用は有効である。日本での導入については知らないが、いずれにしても今を生きる我々がその方々のメッセージを受け継いでいくことが重要だという事に変わりはない。当時の高校生が夢見ていた平和な未来がいま現実にあることに感謝して講話を聴いて欲しい。

【12月・1月上旬の主な行事予定】 ~2018年をしっかりと締めくくり、来年につなげよう~

日	曜	事項	日	曜	事項
1	土		21	金	B
2	日		22	土	
3	月	B きのうの日 登校時指導 健康調査開始	23	日	天皇誕生日
4	火	B 登校時指導 フードドライブキャンペーン	24	月	振替休日
5	水	B 登校時指導 フードドライブキャンペーン	25	火	行 休業前集会 大掃除 音楽発表会
6	木	B 登校時指導 バイク免許所有者集会	26	水	冬季休業開始(~1/7)
7	金	B 登校時指導	27	木	
8	土	修学旅行結団式	28	金	仕事納め
9	日		29	土	校内完全閉鎖(~1/3)
10	月	行 修学旅行	4	金	仕事始め
11	火	行 修学旅行	5	土	
12	水	行 修学旅行	6	日	
13	木	行 修学旅行	7	月	冬季休業終了
14	金	12月8日の振替休日	8	火	行 学校再開 学力テスト
15	土	土曜講座	9	水	行 学力テスト
16	日		10	木	A
17	月	B きのうの日	11	金	B 第3回進路希望調査
18	火	A	12	土	土曜講座
19	水	A	13	日	
20	木	B	14	月	成人の日